

授業科目名	小児看護学概論(2300216)		
時間割名	小児看護学概論(32205)		
時間割担当	上本野唱子		
実施期	後期	単位数	2 必修
曜日・時限	水・2		

授業の目標・概要

小児看護の対象である子どもの各発達段階別にみた成長・発達の特徴を理解し、看護を実践するために必要となる基礎的知識を学ぶとともに、児が健全に成長・発達していくために必要となる環境・資源について学ぶ。

- 1.看護過程展開に必要な小児各期の成長・発達（身体的・心理的・社会的）を理解する。
- 2.「子ども」を取り巻く社会環境と健全に成長・発達するために必要となる社会資源・環境について理解する。

学習の到達目標

- 1.小児が健全に成長発達を遂げるために必要となる人的・社会的資源について理解できる。
- 2.発達段階別の身体、心理、社会的発達について述べるができる。
- 3.乳幼児期における日常生活援助が実施できる。

授業方法・形式

1～10回は講義、11～13回についてはチーム 基盤型学習（team-based learning, TBL）、14、15回は演習を行います。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
小児が健全に育っていくために必要となる環境
- 第2回 小児看護の役割・機能・特徴等
- 第3回 発達段階区分毎にみた形態的成長・発達
- 第4回 発達段階区分毎に見た呼吸の形態・機能
- 第5回 発達段階区分毎にみた循環・循環機能
- 第6回 発達区分毎にみた免疫機能
- 第7回 発達段階区分毎にみた消化機能・栄養
- 第8回 発達区分毎にみた排泄機能・排泄
（排泄機能：泌尿器系、消化器系、呼吸器系、外皮系）
- 第9回 発達区分毎にみた精神運動機能・運動（粗大運動、微細運動、言語）及び心理・社会的発達
- 第10回 発達区分毎にみた遊びの種類と意義
- 第11回 日常生活の援助1（児の抱き方、オムツ交換、衣類の着脱方法）
- 第12回 日常生活の援助2（清潔の援助）
- 第13回 日常生活の援助3（調乳、離乳食）
- 第14回 日常生活の援助演習1（援助1・2を看護の根拠に基づいた方法で実施する）
- 第15回 日常生活の援助演習2（援助3を看護の根拠に基づいた方法で実施する）

成績評価の基準

定期試験60%、TBL30%、事前学習課題10%

授業時間外の課題

授業計画の3～10回については簡単に学習できる事前学習課題を課します。

メッセージ

この科目は、3年次の小児看護学実習の保育園実習で体験する内容が多くあります。また、小児看護の基礎的知識にもなります。しっかり学習しましょう。

教材・教科書

奈良間美保他、系統看護学講座 専門 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学、医学書院

参考書